JOIS-III JICST の新オンライン情報検索システム

③ コマンド解説

浜中 寿*¹, 高野 勝宏*²
本山 功幸*¹

JOIS-III JICST's new online information retrieval system

③ Description of commands

HAMANAKA Hisashi, TAKANO Katsuhiko
MOTOYAMA Noriyuki

[著者抄録] 日本科学技術情報センターにおいて現在サービス中のオンライン情報検索システム JOIS-II に代わるものとして、1990 年 1 月のサービス開始を目指して開発した JOIS-III のシステムについて述べる。本報では、JOIS-II と変更になるコマンドの入力形式と使用例を紹介する。(前報 vol.32 No.3 ; vol.32 No.4)

[著者付与キーワード] JICST, オンラインシステム, 情報サービス, 情報検索システム, JOIS, コマンド

[Author Abstract] We give an outline of JOIS (JICST On-line Information System)-III, Which has been developed as a succession to JOIS-II now being on service by The Japan Information Center of Science and Technology to start service in January 1990. In this report we show input format from new and function-expanded commands substituting to those of JOIS-II and examples of using. (for 1st part, see vol.32, No. 3 ; 2 nd part vol. 32, No.4)

[Keywords by Author] JICST, online system, information services, information retrieval system, JOIS, command

-
- * 1 JICST 電子計算機部システム課 (〒100 東京都千代田区永田町 2-5-2) Tel. 03(581)6411
 - * 2 JICST 業務部オンライン課 (同 上)
 - * 1 JICST, E. D. P. Department (5-2, Nagatacho 2-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100)
 - * 2 JICST, Service Department. On-line Division

1. は じ め に

JICST のオンライン情報検索システムは、1976 年に運用を始めた JOIS-I にはじまり、1981 年 4 月には本格的な営業システムである JOIS-II のサービスを開始しており、それも既に 8 年を経過した。そこで、JOIS-II の全体的なグレードアップを目的として、1986 年 7 月に JOIS-III システムの開発が決定され、1990 年 1 月のサービス開始に向けて作業が進められている。

本報では JOIS-III システムのコマンドの中で、JOIS-II と変更になるコマンドの入力形式と使用例を紹介する。なお、前々報ではシステムの概要を、前報では新しい検索機能を紹介している。

2. コマンドの入力形式

以下に、JOIS-II と変更になる JOIS-III コマンドの入力形式と入力例を示す。

[1] 会話の開始 (¥ JOIS コマンド)

(1) JICST が発行する利用者番号の統一を図るため、JOIS の利用者番号が変更される。

—入力形式—

¥JOIS △利用者番号, サーチャ名

[2] 質問の開始 (¥ FILE コマンド)

(1) 最大 6 データベースまでのマルチファイル検索が可能となる。

(2) 範囲は S および、西暦下 2 桁で指定する。

—入力形式—

¥FILE △ DB 1 [, DB 2, ..., DB 6] [/ { 範囲 [, 依頼者名] } , 依頼者名]

① DB 1 ~ DB 6

質問を行うデータベースをデータベースコード、または名称 (略称) で指定する。

② 依頼者名

利用料金の参照時 (\$ ACC コマンド), 依頼者名が出力される。

—入力例—

1) マルチファイル検索を行う場合

¥FILE △ 010, 011 / , ヤマダ

2) 範囲指定を行う場合

¥FILE △ 010 / 82-89, ヤマダ

[3] オンライン回答書の出力 (¥ P)

(1) マルチファイル検索時は、DB コードの指定が必須となる。データベース毎に出力する。

(2) SSNo. を指定することにより、直前集合以外も出力対象となる。

(3) 出力件数の指定方式が廃止され、出力位置番号の指定方式に一本化される。

(4)ソートキーが指定できる。

—入力形式—

¥P [[△ DB コード] [△ SSNo,] [△出力形式 [／ [出力位置情報 1, …, 出力位置情報 5] [／ソート情報 1…ソート情報 3]]]]

①出力位置の指定方法

- { 出力開始位置 No
- { 出力開始位置 No—出力終了位置 No
- { 出力開始位置 No

の3種類の指定方法がある。出力位置を最大5個までカンマ(,)で区切って指定できる。出力位置情報を省略した場合は、1件目から連続出力する。

②ソートは、最新のデータ500件に対して行い、501件以上はソートおよび出力の対象外となる。

—入力例—

1)直前の集合を全件抄録付きで出力し、資料番号でソートする。

¥P △ A/ JN

2)特定のSSNo.の集合を先頭から15件出力する。

¥P △ 4, A/ 1—15

3)マルチファイル検索を行い、上記②の条件で特定データベースから出力する。

¥P △ 050 △ 4, A/ 1—15

[4] オフライン回答書の出力 (¥ OFF)

¥P コマンドと同一形式となる。

—入力形式—

¥OFF [△ DB コード] △ SSNo, 出力形式／出力位置情報 [／ソート情報]

—入力例—

1)シングルファイル検索の場合

¥OFF △ 6, A/ 1—100

2)マルチファイル検索の場合

¥OFF △ 050 △ 4, A/ 1—100

[5] 原文複写の申込み (¥ ORD コマンド)

(1) ORDER 専用データベースコードが新設される (¥FILE 998)。

(2) ORDER 専用データベース以外(通常の質問中—JICST 系データベースのみ)でも ¥ORD コマンドが使用できる。但し、接続中のデータベースの接続料金が課金される。

(3)記事番号の連続入力が可能となる。

—入力形式—

1. ¥ORD の開始

¥ORD [△ DB コード]

① DB コード

ORDER 専用データベースコード指定時(¥FILE △ 998)のみ有効で、複写申込みを行う文献 DB コードを指定する。

2. 申込み記事の指定

1. 記事番号からの申込み

CN: 記事番号 [, ユーザメモ] [/記事番号 [, ユーザメモ]] ...

2. 資料番号からの申込み

JN: 資料番号 [, ユーザメモ]

① CN:

複数文献の連続入力は、256 文字まで有効 (JICST 系データベースのみ)。

② JN:

JICST 資料番号の他、ISSN、CODEN、ISBN などの資料番号が入力できる。但し、ORDER 専用データベースのみ入力可。

③ ユーザメモ・・・英数カナで 10 文字まで有効。

—入力例—

1) ① ORDER 専用データベースで使用する場合

U: ¥FILE 998

:

U: ¥ORD 010

S: 申し込み者氏名は?

U: ヤマダ タロウ

S: 受付を開始します (CN: JN: END)

U: JN: K 810041

S: 巻, 号は?

U: 20 TH

S: ページは?

U: 1-50, 52

S: 発行年は?

U: 1980

(K 810041)

K 810041 20 TH 1-50, 52 1980

S: 受付 NO. DA 615123 D 001 で受け付けました 受付日時 06.01 10:24

U: END

2) ② ORDER 専用データベース以外 (通常の質問中) で使用する場合

U: ¥FILE 010

:

U: ¥ORD

S: 申し込み者氏名は?

U: ヤマダ タロウ

S : 受付を開始します (CN : END)

U : CN : L 88311825

(L 88311825)

Z 648 A ホルモンと臨床 36, 8 823—828 88

S : 受付 NO. DA 615123 D 005 で受けました 受付日時 06.01 11:25

U : END

3) 記事番号を複数入力する場合

CN : A 12345678 / B 98765432

[6] 質問の登録 (¥ SAVE)

(1) 質問登録を行ったユーザのみが使用する従来の形式 (ストアサーチ質問…ST) に加え, 質問登録を行ったユーザ以外も使用可能な形式 (ヘッジ質問…HG) をサポートする。

(2) 質問登録を行う SSNo. の範囲指定が可能となる (SSNo.₁—SSNo.₂)。

(3) 継続的に質問保存を行う場合, 直接指定となる (/ Q)。

—入力形式—

$$\text{¥SAVE } \triangle \text{登録質問 ID, } \left\{ \begin{array}{l} \text{ST} \\ \text{HG} \end{array} \right\} [, \text{SSNo.}_1\text{—SSNo.}_2] \left[\begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \end{array} \left\{ \begin{array}{l} \text{T } [, \text{Q}] \\ \text{Q} \end{array} \right\} \right]$$

①, T ……登録した質問にタイトルを付与する。

—入力例—

1) ヘッジ質問で SSNo. 3 から 8 までをタイトルをつけ, 質問登録 ID 222222 で継続的に登録する。

¥SAVE 222222, HG, 3—8 / T, Q

[7] ユーザ SDI 質問の登録 (¥ STK ~ ¥ ESTK)

(1) 本コマンドはユーザ SDI 質問登録専用となる。

(2) ¥ESTK コマンドで, 出力対象 SSNo., 出力形式及び出力上限件数を同時に指定する。

—入力形式—

¥STK △登録質問 ID, US

}

¥ESTK △ SSNo., 出力形式 / 出力上限件数 [/ ソート情報 1, …ソート情報 3]

—入力例—

S : 質問を開始します

U : ¥STK QA 0002, US

S : 質問タイトルをどうぞ

U : XXXXXXXX

S : 登録を開始します

⋮

U: ¥ESTK 4, A/100
4, A/100
S: (QA 0002, US) を登録しました

[8] 登録質問の呼出し (¥ STEP コマンド)

(1)他の利用者番号で作成されたヘッジ質問登録を呼出す場合は、該当利用者番号を指定する。
—入力形式—

¥STEP △登録質問 ID, サービス形態 [/利用者番号]

①サービス形態・・・ST, HG, US のいずれかを指定する

—入力例—

1)ストアサーチ質問を呼出す場合

¥STEP 222222, ST

2)ヘッジ質問 (利用者番号 123-4567) を呼出す場合

¥STEP 333333, HG/123-4567

[9] 登録質問の修正 (¥ EDIT コマンド)

(1)本コマンドの使用法は、サービス仕様の変更と検索式の変更に分けられる。

(2)サービス仕様の変更には、従来の SDI 回答書形式の変更 (TY), タイトルの変更 (TI) に加え、サーチャー名の変更 (SN), 依頼者名の変更 (RN) が追加された。また、サービス形態の変更 (CL) は、US から ST への変更のみ可能となる。

(3)検索式の変更は、従来の修正 (R), 追加 (A), 削除 (D), 登録質問の展開・表示 (SR), 更新の終了 (END) に加え、登録質問の検索実行 (RUN), 更新のキャンセル (CAN) が追加された。

—入力形式—

¥EDIT △登録質問 ID, サービス形態 [, 変更区分]

①変更区分 (CL, TY, TI, SN, RN)

サービス仕様の変更を行う場合のみ指定する。但し、CL, TY はユーザ SDI のみ。

—入力例—

1)サービス形態を US から ST へ変更する

U: ¥EDIT QA 0001, US, CL

S: サービス形態をどうぞ (US)

U: ST

S: サービス形態を変更しました (ST)

2)ユーザ SDI の検索式の 1 ステップ目を修正する。

U: ¥EDIT QA 0004, US

S: サブコマンドをどうぞ

U: R 1

S: 修正ステートメントをどうぞ

U: ガソリン

S: サブコマンドをどうぞ

[10] 検索ステップの参照 (¥ R コマンド)

(1) SSNo.の範囲指定が可能となる。

—入力形式—

$$\text{¥R} \left[\Delta \left\{ \begin{array}{l} \text{SSNo.1—SSNo.2} \\ \text{SSNo.1—} \\ \text{—SSNo.2} \end{array} \right\} \right]$$

[11] 0 件以外の検索ステップの参照 (¥ ER コマンド)

$$\text{¥ER} \left[\Delta \left\{ \begin{array}{l} \text{SSNo.1—SSNo.2} \\ \text{SSNo.1—} \\ \text{—SSNo.2} \end{array} \right\} \right]$$

[12] 登録質問, 申込み状況の参照 (¥ SHOW コマンド)

(1)従来¥R 及び \$R コマンドで行っていた, 登録質問一覧の参照及び登録質問検索式の参照を本コマンド (新設) で行う。

(2)オフライン, 原本複写の申込み状況の参照を行う。但し, 処理に入ったものは参照できない。

—入力形式—

1. 登録質問一覧の参照

$$\text{¥SHOW} \Delta \left\{ \begin{array}{l} \text{AL} \\ \text{US} \\ \text{ST} \\ \text{HG} \end{array} \right\} [, \text{開始登録質問 ID}] [/ \text{利用者番号}]$$

2. 登録質問検索式の参照

$$\text{¥SHOW} \Delta \text{登録質問 ID}, \left\{ \begin{array}{l} \text{US} \\ \text{ST} \\ \text{HG} \end{array} \right\} [/ \text{利用者番号}]$$

3. 申込み状況の参照

$$\text{¥SHOW} \Delta \left\{ \begin{array}{l} \text{OFF} \\ \text{ORD} \end{array} \right\}$$

①利用者番号は, 他ユーザが登録したヘッジ質問 (HG) を参照する場合のみ指定する。

②開始登録質問 ID は, 表示を開始する登録質問 ID を指定する。

[13] JICST シソーラス, 自然語辞書の用語参照 (¥ LU コマンド)

(1)従来の JICST シソーラスの参照機能に加え, 自然語—統制語 (FT—CT)対応辞書の参照機能をサポートした。FT—CT 対応辞書とは, 自然語を入力すると, 関連する JICST シソーラス用語(ディ

スクリプタ)を参照できる辞書である。

—入力形式—

$$\yen LU \triangle \left\{ \begin{array}{l} (KW:) \text{キーワード} \\ NW: \text{自然語} \end{array} \right.$$

① KW…シソーラス用語を参照する場合に指定する (省略可)。

② NW…自然語辞書を参照する場合に指定する。

[14] 検索ステップ、登録質問の削除(¥ C コマンド)

(1) SSNo.の削除は、範囲指定ができなくなり、すべてを消去する(ALL)か、あるいは、指定されたSSNo.以降のすべての検索ステップを消去するかのいずれかになる。

—入力形式—

1. SSNo.の削除

$$\yen C \triangle \left\{ \begin{array}{l} ALL \\ SSNo. \end{array} \right.$$

2. 登録質問の削除

$$\yen C \triangle \text{登録質問 ID, } \left\{ \begin{array}{l} ST \\ HG \\ US \end{array} \right.$$

[15] 検索集合の削除 (¥ SW コマンド)

(1) SSNo.を削除せず、検索集合のみ削除を行う。

(2) 検索集合の削除対象となるのは、完全一致検索を除いた、論理式検索、マスク文字検索等の検索結果集合である。

(3) 検索途中で、検索集合エリアがオーバーフローした場合に使用する。

—入力形式—

$$\yen SW \triangle \left\{ \begin{array}{l} SSNo. 1 \\ SSNo. 1 - SSNo. 2 \end{array} \right\} \left[, \left\{ \begin{array}{l} SSNo. 1 \\ SSNo. 1 - SSNo. 2 \end{array} \right\} \dots \right]$$

[16] オフライン、原本複写申込みの取消し(¥ CAN コマンド)

—入力形式—

$$\yen CAN \triangle \text{受付番号}$$

[17] ダウンロード出力 (¥ DL コマンド)

—入力形式—

$$\yen DL \triangle [SSNo.,] \text{出力形式/出力位置情報 1} [\dots \text{出力位置情報 5}]$$

[18] 検索環境の設定(¥ SET コマンド)

下記の環境設定が、当該会話中のみ設定でき、会話終了と共に解除される。

- (1)課金即知の有無の選択 (ACC)。
- (2)SSNo.の展開型、非展開型の選択(SS)。
- (3)漢字系データベースの見出し付加の有無の選択(ITEM)。
- (4)¥P で出力形式 U を指定した場合に、出力項目をデータベース毎に登録する (PR)。
- (5)¥OFF で出力形式 U を指定した場合に、出力項目をデータベース毎に登録する (OFF)。

—入力形式—

¥SET	△	$\left\{ \begin{array}{l} \text{ACC} \\ \text{SS} \\ \text{ITEM} \\ \text{PR } [, \text{DB コード}] \\ \text{OFF } [, \text{DB コード}] \end{array} \right\}$
------	---	---

①¥SET のみを指定した場合、登録されているすべての¥SET 情報を表示する。

[19] 検索環境の設定 (\$ SET コマンド)

下記の環境設定が、ユーザ ID 単位に登録され、会話終了後も継続的に有効となる。

- (1)端末機種別 (端末→ホスト間の通信コードの種別 (ASCII, 旧 JIS, 新 JIS))の登録(TERM)。
- (2)¥SET コマンドのすべての環境設定。

—入力形式—

\$ SET	△	$\left\{ \begin{array}{l} \text{TERM} \\ \text{ACC} \\ \text{SS} \\ \text{ITEM} \\ \text{PR } [, \text{DB コード}] \\ \text{OFF } [, \text{DB コード}] \end{array} \right\}$
--------	---	--

[20] 利用料金の参照 (\$ ACC コマンド)

- (1)日別、質問番号別の JOIS 及び JOIS—F の利用料金の明細を出力する。

—入力形式—

\$ ACC	△	$\left\{ \begin{array}{l} \text{J} \\ \text{F} \end{array} \right\}, \left\{ \begin{array}{l} \text{月} \\ \text{月日} \end{array} \right\} \left\{ \begin{array}{l} [, \text{DB コード}] \\ / \text{依頼者名} \end{array} \right\}$
--------	---	--

- ① J, F・・・料金を参照するシステム名を指定する。

J → JOIS, F → JOIS-F

—入力例—

```

U : $ACC J, 0 2, 0 1 0

1990 年 02 月分 利用明細

質問料金 (質問番号明細)
日 質問番号      開始 — 終了 ¥KEEP      F      回線断[依頼者名]
   DB 名称      料 金      時間 ¥P 課金      回数(A.U.O)(F)

05 BEK 15 A 23  10:15:08—10:43:22  1          D( 0) [タナカ]
   JICST          ¥8,640      29 分          8      ¥OFF( 20)( 0)
                                   ¥DL ( 30)( 0)

08 BHQ 30 A 06  14:30:55—14:58:01  0          D      D( 1) [YOSHIDA]
   JICST          ¥6,010      28 分          20     ¥OFF( 0)( 0)

      :              :              :
      :              :              :
      :              :              :
      小 計          ¥50,880      458 分
      計            ¥50,880

S : 出力終わりました
    
```

[21] ユーザパスワードの登録 (\$ PAS コマンド)

(1) \$ PAS のあとの 9999 が不要となる。

—入力形式—

```

$ PAS
    
```